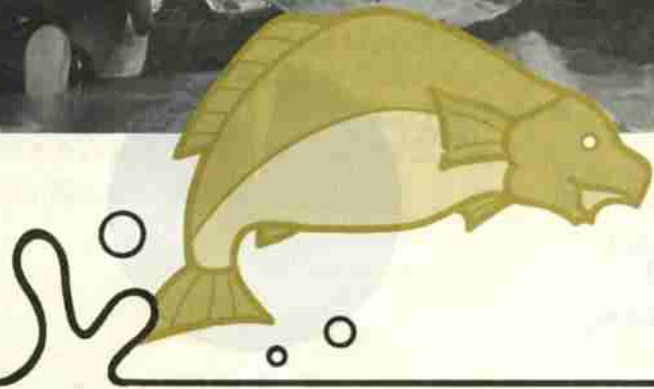
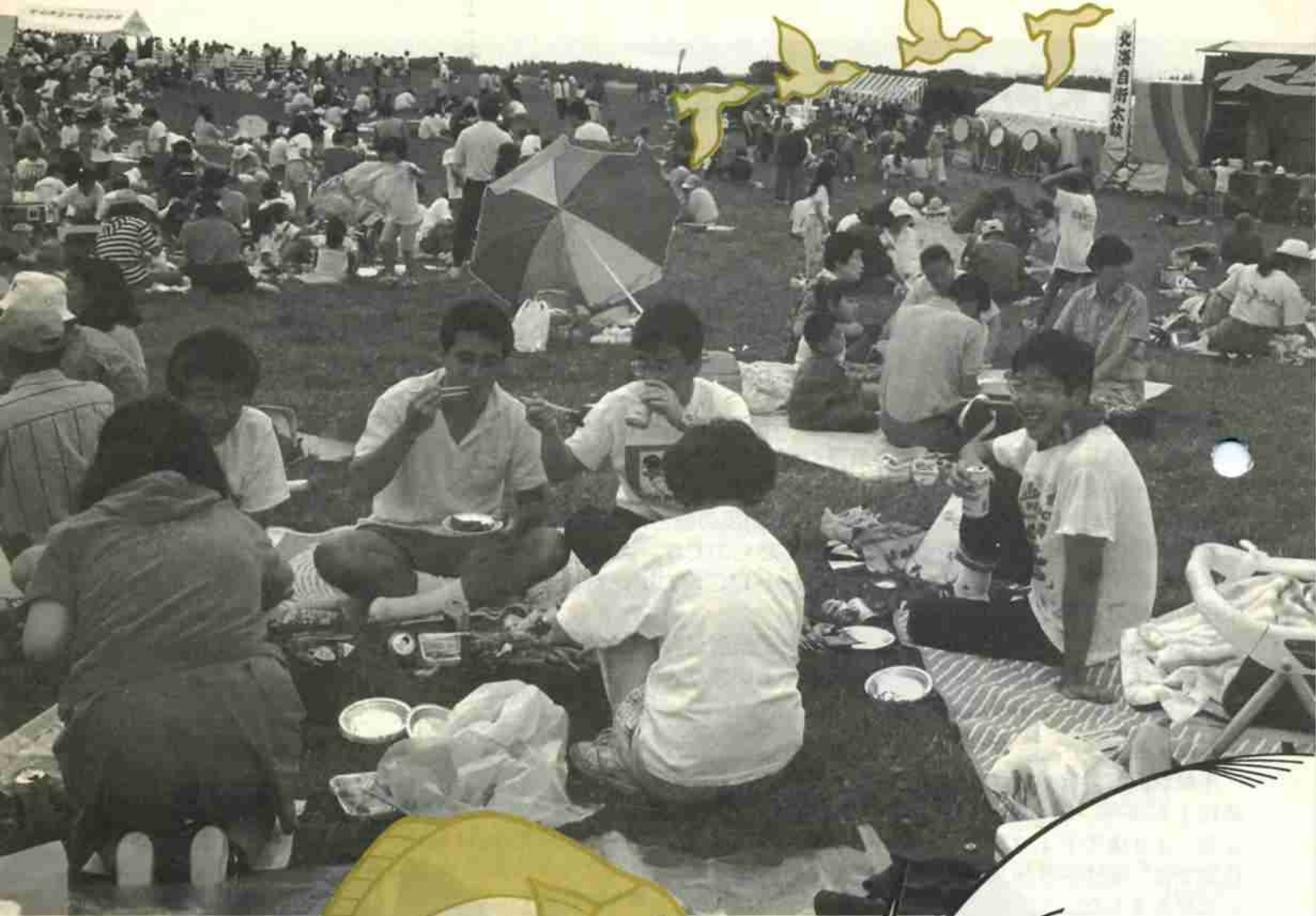


NOBORIBETSU



広報
のぼりベツ

'93
10.1
No.516

登別市議会・市民アンケート調査 ～～ 結果まとまる ～～

今年7月に登別市議会議員定数調査特別委員会が、市民の皆さん1,200人におたずねした、議員定数などに関する「議員定数市民アンケート調査」がまとまりましたのでお知らせします。

登別市議会議員定数調査特別委員会では、市民の方の議員定数や議員活動などについて、市民の皆さんのご意見や意識を知るために、議員定数市民アンケートを行いました。

このアンケートは、年代別に無作為抽出した市民の皆さんを対象として、設問9項目のアンケート用紙を郵送、回収したものです。回収数は483人、回収率40.25%でした。このアンケートにご協力いただきました、市民の皆様にお礼申し上げます。

今後、このアンケート調査結果を当委員会の検討資料として十分生かし、12月末までに結論を出していきたいと思っています。

調査結果は次のとおりです。

＜年齢・性別＞

年齢別回答者は、60歳代24.8%、次いで50歳代18.5%、70歳代17.8%、30歳代15.5%、40歳代14.3%、20歳代9.1%となり、性別では、女性53.5%、男性46.5%の回答をいただきました。

＜法定議員定数36名について＞

市の場合、法律で定められている議員定数は36名ですがご存じですかとの問いに、「知らない」55.1%で「知っている」41.2%を上回り、「関心がない」3.7%となっています。

＜市政反映の議員活動努力＞…… グラフ1

市民の声を市政に反映させるため議員は努力していると思いますかとの問いに、「普通」49.7%、次いで「努力していない」22.6%、「努力している」21.5%と分かれ、「全く努力していない」3.3%、「非常に努力」2.9%となっています。

＜現行の議員定数28名について＞

現行の議員定数28名をご存じですかとの問いに、「知っている」57.8%、「知らない」39.3%、「関心がない」2.9%となっています。

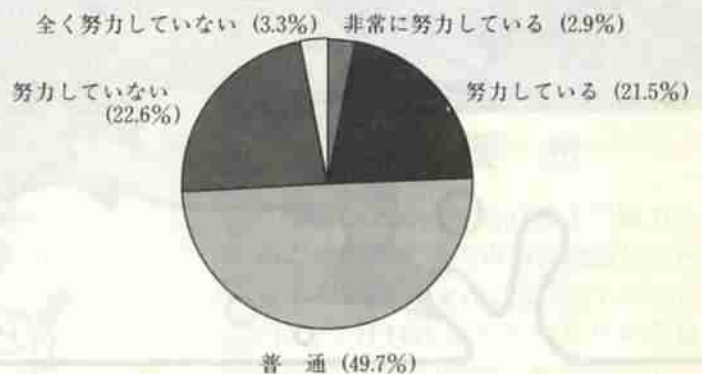
＜議員活動への関心度＞…… グラフ2

議員の活動に関心をお持ちですかとの問いに、「はい」が61.3%と最も高く、「どちらとも言えない」27.3%、「いいえ」11.4%となっています。

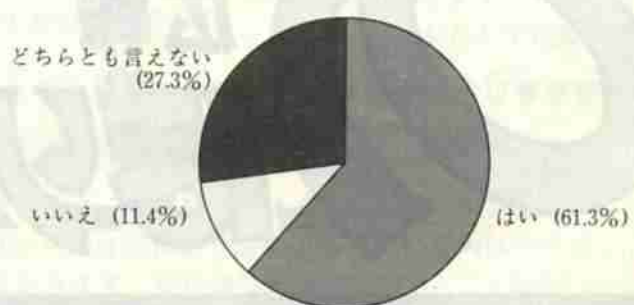
議員定数調査 特別委員会とは

今年の3月定例会市議会で、「議員自らが、議員定数（現行28人）や議員活動の在り方を考えよう」と議員提案され、設置された特別委員会です。

市政反映の議員活動努力 **グラフ1**



議員活動への関心度 **グラフ2**



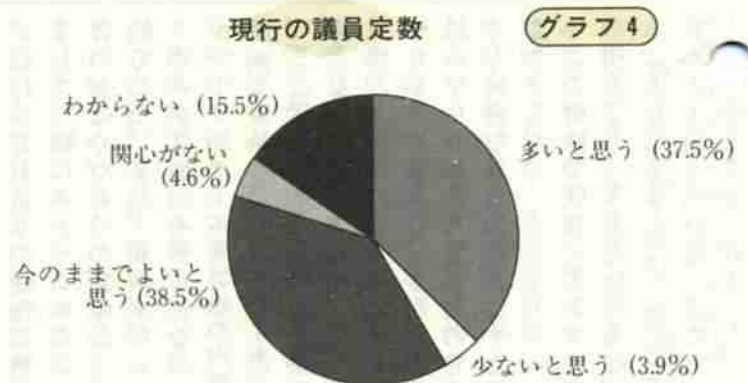
＜議員に期待するもの＞…… グラフ 3

議員に期待するものは何ですかとの問い（複数回答）に、「地域の問題、課題解決への努力」が75.2%と高く、「行、財政のチェック機能の発揮」と「市民とのふれあい」が同じ30.4%と続き、「議会での積極的討論」24.6%、「政策の提言」15.1%となっています。



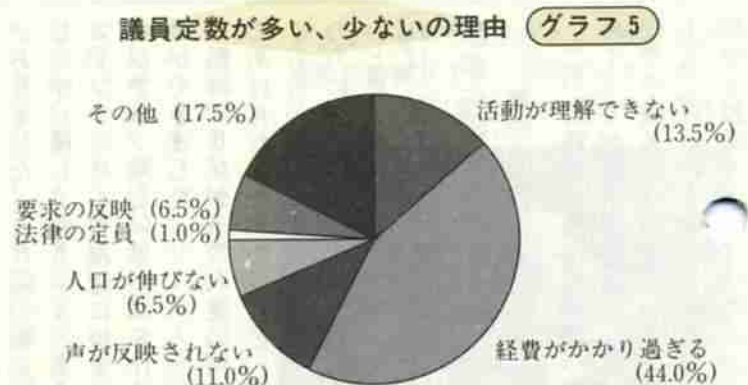
＜現行の議員定数＞…… グラフ 4

現行の議員定数について、どう思いますかとの問いに、「今のままでよい」が38.5%で「多いと思う」37.5%とほぼ同率で並び、「わからない」15.5%、「関心がない」4.6%、「少ないと思う」3.9%となっています。



＜議員定数が多い、少ないの理由＞…… グラフ 5

現行の議員定数が、「多い」「少ない」と回答した理由をお聞きしますと、「経費がかかり過ぎる」が44%と最も多く、「その他」17.5%、「議員活動が理解できない」13.5%、「市民の声が反映されない」11%の順となっています。



＜議員定数は何人が適当＞…… グラフ 6

前の問いで、「多い」「少ない」と回答した方に、何人が適当ですかとの問いに、「20～21人」が32.5%、「24～25人」が30.5%と、半数以上の回答となっています。



＜市議会での、議員定数の在り方の検討＞

市議会では、現在「議員定数の在り方」について検討していることを知っていますかとの問いに、「知らない」68.1%と多く、次いで「知っている」29.2%「関心がない」2.7%となっています。

心で分かり合えました

＝広報8月1日号で紹介した 中学生海外派遣団の報告＝



ウイスリンゲ市役所前でホムステイ先の家族の皆さんと記念撮影

市は、次代を担う中学生に国際感覚を身につけてもらうため人材育成の一つとして中学生の派遣事業を、昨年に引き続き「いきいき人とまち基金」を活用して行いました。

市内の七校から選ばれた中学二年生七名（団長・坂元錦一 鷲別中学校校長）の訪問団は、八月十二日から二十一日までの日程でデンマークとスウェーデンを訪問し、ホームステイや学校訪問で交流を深めてきました。

デンマークに向う途中、飛行機がイギリスに着陸するハブニングがありました。全員元気に帰国。初めて訪れた外国で貴重な体験をした「未来の国際人」は、次のような感想を報告してくれました。

思いやりの心

鷲別中学校 櫻井孝之さん

僕は、デンマークとスウェーデンに行つて石造りの建物に感激しました。特にストックホルム市庁舎の金ばくだりだけの部屋は、印象的でした。また、登別マリナーのニクス城のモデルとなったデンマークのイーエスコ城の内部は、立派な置物などがたくさんあって、「この城を建てた人はお金持ちだろうな」と思いました。

僕がお世話になったホストファミリーのご家族は、心が優しく、思いやりのある人でしたので、とても快適な五日間を過ごすことができました。

この研修で僕は、デンマーク人の明るさと、人を思いやる心を知ることができました。このことは、日本人も取り入れるべきだと、つくづく感じさせられました。

二つの国を訪問して

西陵中学校 花井祥子さん

この夏休みの海外研修の体験は、本当に素晴らしいものでした。

最初に訪れたスウェーデンは自然に恵まれ、「森と水の国」と呼ばれる訳が良くわかる美しい国でした。レンガ作りの建物からは、日本とは違う文化や考え方を感じとれたように思います。

デンマークのリンゲ市では、ホームステイをして、私たちと同年代の人達が通う学校を訪問しました。そこは、日本の学校の雰囲気とは全く違って自由な感じがしましたが、授業中はずっと真剣でけじめがありました。五日間の短い間で、優しく愛さようのあるホストファミリーや友達に接することができ、楽しい思い出を作ることができました。

私は、リンゲ市の人達に何もしてもらえなかったけれど、教えてもらったたくさんのお話を自分の力にして、これからも頑張りたいと思っています。チャンスがあれば、また行ってみたい国です。

無事に研修を終えて

鷲別中学校 寺嶋公輔さん

この研修で、見たもの聞いたものすべてが貴重な体験でした。学校での服装は自由で、一クラス二十人ぐらいの生徒は、みんな伸び伸びと授業を受けていたのが印象



フリー・オ・エフタ校で鬼踊りを披露

に残りました。また、先生が一言話をするたびに静まり、先生の方に集中する授業態度には大変驚きました。

また、ホストファミリーの人達は、私たちが内容を理解するまで、一生懸命話してくれたり、聞いてくれて、なんて心のやさしい人なんだろうと思いました。

僕が、ホストファミリーになったときには、デンマークやスウェーデンの人のように「心のやさしい親切な人」でありたいと思います。こんなにすばらしい研修が無事に終わったのは、たくさんの方に協力してもらったからだと思えます。

言葉は通じなくても



ストックホルム市内のガムラ・スタン

この派遣で学んだこと

鷺別中学校 雑谷 真衣さん

私は、この海外派遣で目標を達成することができました。それは、海外に友達を作ることができたという事で、本当にうれしく思っています。

ホームステイ中は、言葉が通じなくて、ホストファミリーの方々に、色々迷惑をかけてしまいました。事前研修で勉強したことが、無駄になってしまったような感じで、悔しくなりました。でも、この反省をもとに、これからもっともっと英語を勉強し、もう一度デンマークに行つて、ホストファミリーの方々に会いたいと思つています。この海外派遣で学んだことは、一生忘れられない思い出になると思います。そして、この事を生かして、これからあるいろいろな事に役立てていきたいと思っています。

ホルンステッド校に行つて感じたこと

鷺別中学校 成田 美登利さん

私は、ホームステイ先のアナちゃんに連れられてホルンステッド校に行きました。その学校は広く、中庭らしいところには、バスケットボールとフットボールのコートが一面つありました。生徒の数もクラス十二人と少ないため、教室も広く感じられました。共同で使う地図帳は落書き一つなく、次に使う人のためにという思いやりの心が現れていました。

休み時間は、にぎやかな雰囲気でしたが、授業中は積極的に発言し、けじめのある学校生活を送っていました。これからの私たちの生活にも取り入れなければいけない事もたくさんあり、とても勉強になりました。

ホームステイでの思い出

西陵中学校 北本 瞳さん

私は、この海外派遣に参加できたことを、本当に幸せだと思つています。この体験は、私の人生において、大変大きなことであり、また、すばらしい思い出となりました。十二日間というのは、本当にあつという間でした。しかしその十二日間、ドキドキ、ワクワクと驚きの連続でした。一番心に残つたことは、やはり四泊五日のホームステイでした。私は、花井さんと二人だったので不安はなく、逆

デンマーク・リンゲ市ミッドフュンズ高校の秘書リズィ・サンダーさんへ
ふるさと大使(鬼大使)の委嘱状を贈呈



坂元団長よりリズィさんへふるさと大使の盾を贈呈

ミッドフュンズ高校の秘書リズィ・サンダーさんは、平成2年に同校の高校生50人を連れて登別マリンパークを訪れた事や、これまでも市の中学生派遣事業の受け入れに際し、様々なお力添えをいただいていることから、ふるさと大使を委嘱することになりました。今後はデンマークで登別市のPRに努めていただきます。ふるさと大使の委嘱状を託された訪問団は、リンゲ市役所でハンセン市長立ち会いのもと、リズィさんに委嘱状を手渡しました。外国人では英語指導助手だったシル・ウーキーさん、ピーター・ヘンティさんに続く3人目のふるさと大使です。

に期待する気持ちでいっぱいでした。ホストファミリーの人達は本当に優しく、感動しました。一番心配だったのは会話でしたが、私たちが分からないと何度も言ってくれました。しかも、常に笑顔だったので、そこでまた感動しました。

本当に楽しかったホームステイだったので、別れはたまらなく辛かったです。帰りの汽車が駅のホームに近づくとつれて、みんなの泣き声がどんどん大きくなり、私も思いつきり泣いてしまつて、目が真っ赤にはれて痛かったです。

今度は、自分でお金を貯めて、自分の力で再びデンマークに行きたいです。

私の学んだこと

登別温泉中学校 東川 珠子さん

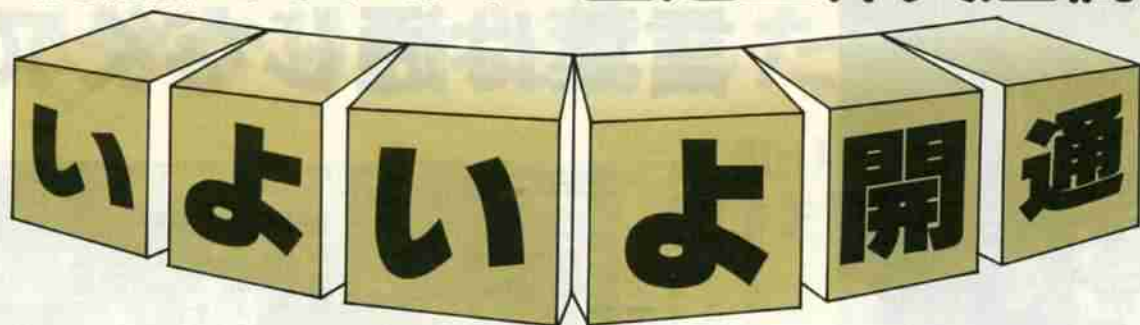
私は、この海外研修でいろいろな人と交流し、たくさんのお話を学び経験しました。私が一番この

研修で心に残っていることは、ホームステイの五日間です。

リンゲ市の駅に着いたとき、ホストファミリーの人たちが、温かく出迎えてくれました。そして、その家の人達は初めから私に優しく接してくれました。それに応えようと私も頑張りました。ホームステイにも慣れ、楽しい毎日が続きました。夜のパーティーでは、みんなで食事したり子供達だけでバスケットボールをしたりと楽しい時間が過ぎて、最後の歌のときは泣いてしまいました。その時も、優しくなぐさめてくれてとても感動しました。

私は、この研修で「優しい心」は国も言葉も関係ないと思えました。私も優しい心をもてる人になりました。最後にお世話になったみなさんありがとうございました。

幌別バイパス・西通立体交差橋



10月26日(火)午後2時

国道36号の交通渋滞緩和として工事が進められている幌別バイパスと、JR線を横断する立体交差橋建設工事がほぼ完成し、10月26日待望の開通を迎えます。

室蘭開発建設部が工事を進めている幌別バイパスは、国道三十六号の幸町二丁目市清掃工場付近から海岸線を通り、幌別町一丁目の幌別川付近へ至る延長三・一キロメートル。車道幅員七メートル、歩道が三・五メートルの二車線道路です。幌別地区を通過する現国道には、七箇所の信号が設置されているため、信号機付近の渋滞が目立っていました。それらの解消策として、約四十億円の総事業費を投入し、昭和六十二年度から工事を進めていました。

また、室蘭土木現業所が平成元年度から総事業費約二十四億円を投入して、工事を進めている道道弁景幌別線の立体交差橋は、中央町の市街地からJR線と現在の国道を高架で通過し、幌別バイパスとつながれます。高架の幅員は八・五メートルの二車線で、両側には二・五メートルの歩道があります。中央町側と幌別町側はスタッドレスタイヤに対応するため、ロードヒーティングが施されています。朝夕のラッシュ時に渋滞することが多い現在の国道三十六号は、幌別バイパスと立体交差橋が完成することにより、渋滞が大幅に緩和されるほか、幌別地区の車両の流れがスムーズになるなど交通体制が確立されます。

西通立体交差橋



中央町側からのながめ



交差橋頂上から見える幌別海岸



西通立体交差橋
照 明 灯

幌 別 バ イ パ ス



幌別町1丁目の幌別川付近



幸町2丁目清掃工場付近

英語指導助手(AET) ジル・ウーキーさんから クリスティーン・パトリックさんへ

市は、中学生に生きた英会話を学んでもらうため、平成二年度からAET制度を行っています。市内の全中学校で英語指導助手を務めるほか、市民を対象に英会話教室などで活躍しています。今年七月まで務めたジル・ウーキーさんに変わって、三代目となるクリスティーン・パトリックさんが八月十五日に着任し、さつそく二学期が始まった八月二十三日から登別温泉中学校の教壇に立っています。



クリスティーン・パトリックさん(23歳)
米ニュージャージー州出身、パーシニア大学で日本学を専攻。

父親が米海軍のバイロットだったことから、東京の厚木米軍基地で四年間小学生時代を過ごし、ペラペラに近い日本語を話すクリスティーンさん。着任してまだ一か月余りですが、町や学校の印象を聞いてみました。

登別温泉中学校からスタートした英語の授業や学校の雰囲気はどうですか？
前任地の佐呂間町では、教育委員会に務めていたので、中学生に教えるのは初めてなの。この学校の生徒は、英語の発音がとても上手で、良い授業ができるわ。先生方もみんな親切で、家庭的なこの学校は大好き。地獄祭りでもこしをかついで、すごく楽しかった。

えんま大王もすごかったわ！

市内の中学校を三週間程のスケジュールで英語を教えていくんですね？
そうです。三週間はとても短いですが、慣れたところに次の学校に行くので寂しいわ。でも、いろんな学校の先生や生徒達とみんな友達になりたい。

日本食はどうですか？
納豆、梅干し、あんこが嫌い。かつば巻きが大好き。カツ丼、やきとりも好き。

登別にいる間、どんなことがしたいですか？
仕事では、中学生に英語を覚えて欲しいし、私は日本語を勉強したいです。スキーやテニスをするのが大好きなの。スキーはぜひニセコで滑りたい。温泉には毎日でも入りたいわ。

登別の大勢の人と交流を深めたいという「クリス」。ペラペラの日本語と笑顔で語ってくれました。



ジル・ウーキーさん(23歳)
イギリスへ帰国後、モーンマス大学の大学院で法律を勉強し、弁護士を目指します。

一年間のAETを務め、新任のクリスティーンさんにバトンタッチしたジル・ウーキーさん。
登別で暮らした感想や在任中の思い出を綴った手紙がイギリスから届きました。

昨年七月から一年間、登別市内の七中学校でAETとして働くことができた本当に良かったと思います。時には難しいことや混乱することもありましたが、いつも興味深いことが多く私にとっては素晴らしい経験でした。

初めて日本へ来た時は日本語や日本の習慣が全く分かりませんでした。でも多くの市民が親切であり生徒も先生も熱心なので短時間で生活に慣れ、日本の様々な文化の良さが分かるようになりました。

登別に住んだことでスキーの楽しさはもとより、温泉につながる楽しさを満喫できました。また、登別市内で各種のすばらしいお祭りに参加した事、中学校の遠足に行った事が思い出され、英国に帰った今、もうこれらの事を懐かしく思っています。

日本の学校で教えることは、英国と日本のいろいろな違いを「観察」するのに最適な方法の一つです。私が生徒達に多くのことを教えられるように、生徒達も私から多くのことを学んでもらえたであろうことを願っています。

私は、登別での楽しかった数多くの出来事を思い続け、またいつの日にか登別へ帰り、今まで築いた友好をもっと深めたいです。その時まで、登別で過ごしたエキサイティングな一年間の、すべてのことに手を貸して下さった皆様の成功と幸せをお祈りします。

高齢者叙勲

まちの発展に貢献 勲六等瑞宝章 東島 榮一さん(八十八歳)



幌別町在住

昭和二十二年、当時の幌別村議会議員選挙で初当選以来三期連続当選し、村議会、町議會議員として、地方自治の振興、発展に貢献しました。

「章をいただいたことは、思いがけないことで、感激しています。議員だったころは、終戦直後でこの町も混とんとしていました。引揚者家屋の手配で空き家を探したり、食糧難でしたからね」と苦労した当時を思い出されていました。

市民リポート 加藤 民雄(千歳町在住)

気軽に 楽しく スポーツしよう

私、市民リポーターの加藤民雄です。今年で四十五歳になり、なかなか手軽にスポーツすることができない年齢を、実感しています。そこで今回は、スポーツすることの効用を探し、私と同じような方が気軽にできるスポーツはないものかと、市内をリポートしてみました。



札幌で行われた第7回北海道クロスカントリーレース

スポーツの秋です

まず、市内で行われているスポーツの人口と種類について、市体育振興課の竹野課長さんにお話を聞きました。

加藤◆昨年、市のスポーツ施設を何人の方が利用しましたか。

竹野◆平成四年の施設利用者は、延べて約十七万八千七百人です。

同じ方が何度も利用しているため、市の人口より多い数字となっています。

加藤◆各施設では、どんなスポーツが行われていますか。

竹野◆総合体育館では、団体・個人それぞれにバレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サーキットトレーニング、テニス、空手、ミニバレーボールなど。市民プールでは水泳、それと水中歩行している方もいますね。

市内には、警別、富岸、幌別、登別の各地区に青少年会館があります。そこでは、バドミントン、卓球、バレーボール、ミニバレー、空手、柔道、剣道などが行われています。

市営陸上競技場ではマラソン、陸上競技、ラジオ体操、ゲートボールです。日の出野球場では、野球練習と各種大会が行われています。また、カムイヌプリや来馬岳では、登山も盛んですよ。

加藤◆そんなに種類が多いのなら、個人でも気軽に利用できますね。個人で指導してもらうには、どのようにしたらよいですか。



体育振興課 竹野課長

竹野◆市には、各種スポーツについて指導助言を行う体育指導委員がいます。個人を対象にした健康スポーツ教室などを開き、スポーツを通じた健康づくりやスポーツの振興に努めています。体育振興課(☎5552)へ問い合わせのうえご利用ください。

また、専門競技に興味があるときは登別市体育協会に加盟している団体(次頁一覧表)にご連絡ください。

加藤◆「何か運動をしてみよう」と思う人には、どんなアドバイスをしますか。

竹野◆まず、何でもいいですから、手近なところから始めることです。家事などのちょっとした動きなんかも意識して行うことで、それが立派な運動になりますよ。スポーツの原点のようなものですね。それから、階段や散歩、ウォーキングへと無理せず発展させていくことが望ましいですね。スポーツを続けると、時間の使い方がうまくなりますね。

次に、スポーツを長年続けることの効用を知るため、苛酷なスポーツとして有名なトライアスロンで、好成績を出された養口さんにお話を聞きました。

加藤◆今年八月二十二日に、留萌市を中心に行われた第七回日本海オロロンライントライアスロン国際大会で、八位に入賞されたそうですね。終えてのご感想は、どんなものですか。

養口◆この大会へは、四回目の参加ですが、何度出ても完走するのが大変だと感じますね。一日に水泳二キロメートル、自転車百九十二キロメートル、ランニング四十三キロメートルの合計二百三十七キロメートル。ほぼ登別市から札幌市を往復する距離を走る、日本一距離の長い大会なんです。今年は、自分の周りの人たちの協力と計画的なトレーニングがうまくいき、夢にまで見た八位入賞となりました。



トライアスロンの練習に励む養口さん

加藤◆なぜ、トライアスロンを始めたのですか。

加藤◆七、八年ほど前に、何か打ち込めるものはないかと思ってたとき、トライアスロンを見て「これは、カッコいい」と思った事がきっかけです。初めは、ほとんど泳げなかったんですよ。

加藤◆トライアスロンを始めて、変わったことはありますか。

加藤◆毎夕二時間の練習時間を作るため、時間の使い方がうまくなり、毎日を生き生きと暮らせるようになりました。それに、集中力が付いてきましたね。

加藤◆初めてトライアスロンをするには、どうしたらよいですか。

加藤◆トライアスロンは競技している時間が、短い種目で二時間、長い種目になると十五時間ほどになります。そこで、初めての方はエアロビック効果のある運動から、徐々に始め、身体を長時間の運動に耐えられるようにすることが必要です。水泳、自転車、ランニングなどを楽しみながら長く続けるとよいでしょう。一人でもできますが、仲間がいると励みが出て一層よいですね。

目的が健康管理なら、歩く人も、走る人も一緒にやろう

——マイペースで気軽に運動を続けるためにはどうしたらよいのかを知るため、体操する人、歩く人、走る人など、いろいろな人が自由に集まり活動している「登別走ろう会」の小清水さんにお話をしました。

加藤◆会の目的は何ですか。

小清水◆ほかのクラブ等では、走る人と、歩く人は、別々に所属して活動をしていますね。でも、健康管理が共通点ならば、一つ屋根の下にいろんな人達が集まり、規則に縛られない自由な雰囲気の中で情報交換や親交を深めることが、互いの向上に役立つのではないかと



クロスカントリーレースを走り終えた登別走ろう会の皆さん

と、これが目的ですね。

加藤◆歩く会員からの感想はどうですか。

小清水◆会にとって走る人、歩く人、それぞれが主人公です。

でも、会の名前が「走ろう会」なのでなかなか歩く仲間が、入会しにくいのが難点でしょうか。

歩く人は毎朝六時から約一時間歩き、走る人は毎週日曜日の十時

に集まって走っています。

加藤◆入会したいときは、どうしたらよいのですか。

小清水◆小清水(☎7360)までお電話をください。

基礎体力のレベルアップが、けがや故障の予防には一番です

——最後に、運動するときに注意しなければならぬ、ねんざや打撲などのけがや故障の予防について、幌別町で鍼灸接骨院を開いている井芹さんにお話を聞きました。

加藤◆外傷を防止するにはどのような注意が必要ですか。

井芹◆基本的な防止は、けがや故障を引き起こす部分を、あらかじめ強化することにあると思います。

基礎体力のレベルアップが、予防には一番でしょうね。あとは、自分の運動能力を良く理解し無理をしないことです。

加藤◆何も運動をしていない人が運動をする場合、どんな運動から始めるとよいでしょうか。

井芹◆個人によって差があると思いますが、目的を持って毎日できるものを選ぶことだと思います。

例えば、歩行や軽い体操などでですね。ただし、飽きることもあるので、個々で工夫して、楽しく繰り返してできるようにすることも必要ですね。

加藤◆軽い故障の場合、自分でできる治療にはどのようなものがありますか。

井芹◆そうですね。一般的ですが、

まず安静にすることが大切です。それから症状を自分で判断できる場合は、冷却したり保温したりして腫れを少なくすることです。そして、すみやかに専門医の診察を受けること



スポーツをする場合の注意点などを井芹さんから聞く。加藤がボクサー

とです。その後、回復期のトレーニングを経て、運動に戻るとよいでしょう。

四人の方から、スポーツに関するそれぞれのお話を伺いました。

市内には、たくさんの方々が活動されていることが分かりました。

また、家事や歩くことなどふだん何の気なしに動いていることが、目的意識を持って行うことでスポーツになるということも新たな発見でした。

これからスポーツの秋を迎えます。皆さんも私と一緒に気軽にできることから始めて見ませんか。

登別市体育協会

各団体連絡先

団体	名前	電話番号
陸上	津谷さん	56068
軟式野球	小杉さん	52000
軟式庭球	寺田さん	3548
ゲートボール	南さん	3629
少林寺拳法	伊藤さん	1036
テニス	志田さん	2016
柔道	田中さん	3449
水泳	本田さん	6225
山岳会	河村さん	8924
バレーボール	川村さん	9114
卓球	市原さん	8717
バドミントン	成田さん	2527
バスケット	東さん	2926
剣道	鳥居さん	7914
サッカー	伴野さん	5706
スキー	佐藤さん	2746
スケート	工藤さん	7219
空手	水口さん	2832
銃剣道	平岡さん	1412
クレー射撃	三上さん	2309
スポーツ少年団	三上さん	5552

※エアロビック=血液の循環をよくし、酸素摂取を増大するように、ランニング、ダンスなどを取り入れた健康法。

生涯学習への 取り組み 五年目の節目を迎えて



登別市の生涯学習は、平成元年度「生涯教育推進室」の設置に始まり、生涯学習のPR紙「明日を開く窓」の発行や、ふるさとをたずね、ふるさとから学び、より良いふるさとづくりを願った「ふるさと学習事業」から取り組みました。これらの事業を通して、多くの市民の協力をいただき「登別の生涯学習」として、全道的にも注目をあびています。

現在、婦人短期大学や老人大学で多くの市民が生涯学習を実践しています。当市の高齢者の生涯学習への参加はめざましいものがあり、今年度、老人大学には、千百名の在学生がおり、小学生との交流や町の美化活動、知恵の派遣事業（登録者百名）等で「ふるさとづくり」に励んでいます。



▶乳幼児を持つお母さんのための子育てセミナー



▶市内五地区で開園しているふるさとふらたの園

生涯学習の目的は、市民一人ひとりの学習の輪が連動して広がり、よりよい「ふるさと」のほりべつをつくることです。今年、七月には、北海道老人大学（札幌分校六十名）が当市を訪問するなど、他市町村との交流も行われました。また、市が生涯学習の充実を一層図るため平成二年度から取り組んだ「生涯学習振興基金」は、現在五千四百二十八万円に達し今後の生涯学習への活力の源として期待されています。

五年目の節目としての記念イベント「生涯学習フェスティバル」を十月六日から九日まで開きますので、ご家族そろっての参加をお待ちしています。（九月十五日号広報の折り込みを参考にしてください。）

（生涯教育推進室）



鳥名 カワラヒワ
観察時期 10月下旬まで
（文・写真提供 日本野鳥の会 会員ヨシキリの会）
▶問い合わせ 伴野さん（☎7515）

僕はカワラヒワ。聞きなれない名前でしょ。でも実はみんなの近くにいますよ。僕の声はキリキリコッココココって特徴のある声で鳴くから、一度耳にしたらすぐ覚えるよ。
木めのくちはしは、ピンク色で体のサイズはスズメ位。全身の色は黄褐色で翼を広げると黄色が一際目立つんだ。僕やほかの仲間達をカラー写真で見てもらえないのが残念だな。
僕たちの大好物は野草の種。毎年、七月の中旬に土手の草刈りをされていたのが、今年は八月のお盆過ぎまで刈らないでいてくれたんだ。おかげで僕たち仲間のひながたくさんかえる事ができたし、秋の渡りに備えてえさをおなか一杯食べることもできたんだよ。



友達の輪

前回登場の新井さんよりご紹介いただいた富士町にお住まいの大塚さんを訪ねました。

大塚さんは前筆の荒井さん同様現在は俳句同好会、山野草の会等に所属し、その奥深さに魅了され活躍中との事ですが、今回は七、八年前まで熱中していたというお城



大塚 次郎さん (70歳)
富士町在住

となりまち

ほっとライン

室蘭市

立野至美イタリア

オペラアリアの夕べ



今年、イタリアで開かれた「カタラーニ国際コンクール」で日本人初の1位に輝くなど、数々の国際コンクールで活躍している室蘭出身の音楽家、立野至美さんの「イタリアオペラアリアの夕べ」を開きます。

賛助出演に、イタリアから2名の音楽家(テノール・ピアノ)を加えて、本場イタリアオペラを披露するこの機会に、あなたもぜひ、世界の頂点に輝いた立野さんの美声をたんのうしてははいかがですか。

- ▷日時 10月22日(金)午後6時30分開演
- ▷場所 室蘭文化センター
- ▷入場料 指定席3,500円、自由席3,000円
- ▷問い合わせ 室蘭市文化振興課

(☎03156)

伊達市



第4回伊達漁協秋さけ祭り

味覚のアキアジを格安で提供します

伊達漁業協同組合は、海からの恵みを還元しようと、今年も「伊達漁協秋さけ祭り」を開きます。

当日は、さけや海産物などを格安で提供するほか、さけのつかみ取りや抽選会など大人から子供まで楽しめるプログラムを盛りだくさん用意していますので、ご家族おそろいでお越しいただき、秋の味覚を心行くまで満喫してください。

- ▷日時 10月17日(日)午前10時から午後3時まで
 - ▷場所 伊達漁港前広場(西浜町)
 - ▷問い合わせ 伊達漁業協同組合
- (☎014202424)

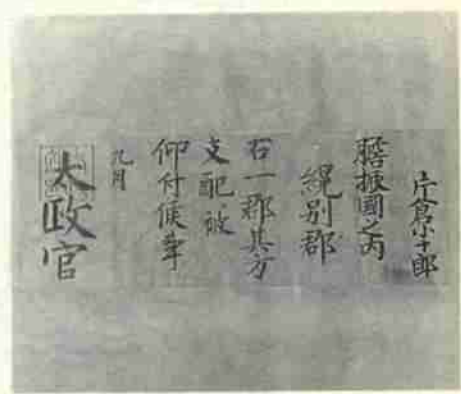
「チュア」の製作についてお聞きし、また拝見させて頂きました。「私は新潟生まれで、じいさんの話だと先祖は庄屋をやっていた家には四十代々の家系図があった。そんな家のせいか私は子供のころから古い物に興味があつたんだなあ」戦前、舞鶴の海軍工場で軍艦の製作に従事していた大塚さんは、戦後船乗りを目指し、お姉さんのいた北海道へ渡る。その後昭和二十三年二十六歳の時、新日鉄に入社。二年後結婚、三十代に入りお城の製作に入る。

立派な物ができ、ようになったのは四十代になってからの事。七年前に作るのをやめたそうですが、それまでの製作数は三十数城との事、日本全国にある城の一分以上を作ったことになる。製作した作品はいろいろな人にあげてしまい、現在家に残っていたのは四、五城でした。その内、彦根城と淀城を見せてもらいました。「写真撮るのちよつと待って、城は下から見上げるもの。軒下に美しきがあるんだよ。下から撮らなきゃあ」なるほどと感心。その後、お城よりお寺の軒下がより美しいと聞かされ再度納得。「お城にはいろいろな特長、出来事、歴史があり、それらを学び想像しながら作るんだよ。のめり込んでしまふんだね。材料？それは企業秘密だね(笑)」

城のある土地へ行って図面などの資料を集め、一城完成まで約三カ月、普通模型は六十分の一の大きさで決まっているようだが、依頼者の置く場所によって大きさを変えているとの事。また、企業秘密の材料はどうも割り箸のようだ。以前、市役所に置いてあった小田原城、また現在資料館にある白石城も大塚さんの作品とのこと。今、白石市では白石城を復元工事中で、完成したら是非自分の城と見比べたいとの事でした。本当はまだまだ色々教わりました。刃、石垣、井戸、兜の事など、この場で紹介できないのが残念です。ともかく素晴らしい職人芸を見せて頂き感激。勝手に弟子入り希望し、再度個人的におじゃまさせて頂くことを約束しておいりました。

▲市民リポーター 白沢賢一▼

次回は、中央町にお住まいの伊達豊子さんです。



郷土史点描

登別郷土文化研究会 宮武紳一

41

登別の開拓と

白石城主片倉家との関わり

その2

仙台藩主伊達政宗に仕え白石城主として後に一万八千石を拝領伊達家一家として反映を誇った片倉家も奥羽越前戦争で主家と共に朝敵賊軍として敗戦する。

家録も召し上げられ、米五十五俵だけの支給は片倉家の生活も困難である。いわんや家臣一千四百二戸(奥羽盛衰見聞誌)七千五百余の家中を養うなど考えられない。

現実に、片倉家の要地刈田郡も南部藩領となり、白石城も引き渡され、南部家臣も白石に続々と移住してきた。勿論藩士の入居先は片倉家家臣の屋敷建物である。

また、東北地方の戦後処理や中央の国家権力を地方に浸透させるため、白石城に按察使府という役所を設け、新政府の役人も片倉家中屋敷に入居するようになった。

片倉家の旧臣にとってはつきりしていることは、屋敷建物は没収南部氏支配のもとに「百姓」になるか他の方法を求めるかである。

一方、明治の新政府は、日本とロシア共有のカラフト(サハリン)で大國ロシアの進出に抵抗しきれず、北方領土の警備と確保は大変な状況にあった。

明治二年、蝦夷地を北海道と改め十一国八十六郡を設置、政府の統治権の及ぶ行政区としたが、九州・四国を合計した以上に広い北海道の人口は、僅か五万八千余(登別市は現在約五万七千人弱)、首都を目指す札幌の定住者は九戸十三人という当時の状況である。

ロシア侵攻の防備に北海道と樺太の移住開拓は緊急課題であった。北海道開拓使(樺太開拓使)を

新政府は設けたが金がない。太政官は、ついに「蝦夷地開拓のことは今後諸藩・士族・庶民に至るまで志願の次第を申し出た者に相應の土地を割り渡し開拓を仰せつけ

るものである」と布告した。この事を、上京中の片倉家旧家臣(良知・横山一郎)が知り、巨

理の伊達邦成の家老田村顕充と会い「既に伊達家復興のために北海道移住に生命をかけている」との決意に感銘した良知は応援に来ていた日野愛憲・渡辺順らと急ぎ帰国、旧主邦憲と会い仙台伊達家家臣の巨理伊達家(伊達市)、同じ角田の石川家(室蘭市)の動きも報告、

蝦夷地移住の必要性を説き、邦憲も意向にに応じたので、旧家臣団の意向をまとめるべく準備し、初代景綱創建の傑山寺に八百余が集合、片倉家及び旧家臣の存亡をかけての討議が繰り広げられた。

議論百出、結果は移住賛成の跋涉派と在地帰農派に分かれる。跋涉派は、(一)旧主片倉家三百

年の名門と主従関係を保ち武士の誇りを保つ。(二)蝦夷地を開拓し「北門の砦」となり警備に当たり勤王の志をもって賊軍汚名を返上する。

帰農派は、「(一)主君は伊達家家臣として保護される。(二)三百

年来の父祖伝来の地であるから、例え百姓になっても墳墓の地を守りたい」などというのである。

結果的に、封建社会の理想を説く道理派の主調が通り、移住開拓に盟約する者の総計六百二十四戸に達したので民部省に「移住嘆願書」を提出、片倉邦憲も東京に招かれ、太政官より「幌別郡一部の支配」を仰せつかることになった。

早速、支配地受領のため先発隊が派遣されるが、以後片倉家の旧筆頭家老本澤直養の「胆振国幌別郡御支配所出張萬記録」をみよう。

本澤は、明治二年(一八六九)十月九日熱海勝と他に二人の商人を連れ白石を出発した。陸路東北地方を北上、青森県下北半島の大間から函館に着いたのは二十九日である。函館の開拓役所で事務手続きと片倉景範公を待ち、十一月十七日函館出発、二十二日長万部から静狩まで進み、深雪の中をアイヌ人らの先導で急峻な静狩・礼文華の山道を越え蛇田・有珠を過ぎ、

室蘭(崎守町・元室蘭)出発は二十五日の十時過ぎ、午後六時に片倉家支配地幌別会所にやつと着いた。

白石出発から幌別まで四十六日間、気象・船乗りの都合で函館十六日の滞在もあるが、海陸の苦難の道中に二十七日もかかっている。

旧暦の十一月二十五日は現在の新暦で十二月二十七日、厳冬を迎えて雪の舞い上がる支配地「幌別郡」への着地であった。

再生品（リサイクル製品）を

積極的に使いましょよう

今、地球環境問題（熱帯雨林の減少や砂漠化など）が多くの人たちの関心を集めています。

限りある資源を守るためにも「リサイクル」は、重要です。

リサイクルコーナー



新聞等の古紙は、五十

リサイクルすると、直徑4センチ、高さ8センチの立ち木一本分に相当するといわれています。

一般家庭から出る古新聞は、約九か月分が立ち木一本に相当します。

また、牛乳パックは、三十枚でトイレトイレットペーパーが五個できます。

ちなみに、平成四年度の当市「町内会集団資源回収」の古紙の回収量は、四十五万九千枚なので立ち木九千八百八十本分に相当します。

しかし、回収だけに努めても、リサイクルされた製品（再生紙使用のトイレットペーパーやティッシュペーパー等）を使わなければリサイクルが行われたことにはなりません。

限りある地球の資源を守るため、再生品を積極的に使いましょよう。

地球の資源には、限りがあります。



▽問い合わせ 環境衛生課 (☎2958)

環境にやさしい生活①

洗濯には「石けん」を

おすすめします

洗濯用の洗剤は「石けん」「合成洗剤」「複合石けん」の三種に区別され、これらは粉末状のものが大部分なので、どちらも「粉石けん」だと思っ

と粉石けんや、複合石けん（石けんに石けん以外の界面活性剤を三割以上入れたもの）を少量のお湯で溶かしてから洗濯を行った方がよいようです。

また、すすぎは水温が低くなるほど落ちが悪くなり、特に粉石けんはその傾向にあります。

一回のすすぎでは石けんを十分に洗い流す事ができないので、二・三回のすすぎが必要です。

消費者コーナー

「石けん」は合成洗剤と原料も成分も大きく

ちがいます。

石けんを粉末状にしたものは粉石けんとい

ますが、合成洗剤は粉石けんとは

言いません。

石けんは牛脂

やし油などの天然油脂を原料とする界面活性剤

が汚れた衣服などに浸透して汚れを包み込み、

衣服などから取り去った汚れを

自然界の微生物の力で炭酸ガス

と水分に分解するので、環境汚染を防ぎます。

そのため人体への影響の心配がないという点で石けん使用者が増えてきています。

粉石けんは、低温での溶解性が悪く、道内では冬期間の水温が五度以下になることを考える

界面活性剤

合成洗剤

石けん

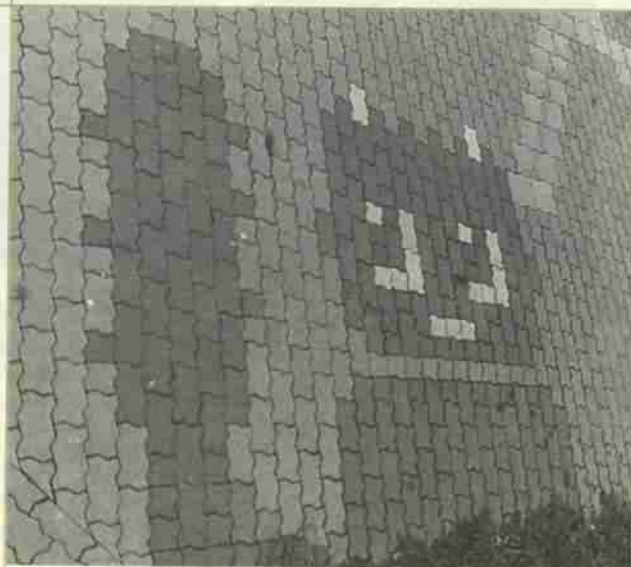


石けんの界面活性剤は汚れを包み込み分解します

▽問い合わせ 登別消費者協会

(☎8307)

まちかどぶらり



ブロック舗装

登別東町 国道三十六号歩道

アスファルトではなく、ブロックで舗装した歩道がところどころで見られるようになりました。鬼を描いた歩道は、婦人センター側の歩道にあります。宝蘭開発建設部が平成三年に国道三十六号の拡幅工事で整備しました。

表紙のこぼ

味覚の秋、スポーツの秋にふさわしい「大地の祭典」での1コマです。これから、野山がだんだんと色づく季節を迎えます。今年は、夏らしい日なかった分、秋を思いきり楽しめましょう。

ひとの動き

- 人口 56,931人
(前月比 - 38)
- 世帯 20,613世帯
(前月比 - 7)

平成5年8月末日現在

発行

登別市役所
総務部総務課広聴広報係
☎0143☎1130
〒059
北海道登別市中央町6-11

共同募金

赤い羽根募金

10月1日～12月31日

愛ちゃん と 希望くん



ご協力をお願いします

▷問い合わせ 登別市社会福祉協議会
(☎☎0860)

思いやりいっぱい ありがとう

北海道南西沖地震災害被災者への
義援金

8月14日から9月13日まで協力をいただいた北海道南西沖地震災害被災者への義援金は、27件、1,352,021円で、7月14日から寄せられた義援金との総額は168件、9,262,195円となりました。

市民の皆様のご温かい善意に心からお礼申し上げます。

◁日本赤十字社登別市地区▷

車両通行止め

鶯別支所前から美園町に至る市道(鶯別踏切付近)は、10月21日から11月30日まで道路工事のため車両は全面通行止めになります。歩行者は仮歩道を利用してください。

▷問い合わせ 土木課 (☎☎3260)